

令和 3 年度練馬区災害医療運営連絡会 第 1 回専門部会会議録

- 1 日時 令和 3 年 6 月 16 日（水）午後 7 時 00 分～8 時 00 分
- 2 形式 Web 会議
- 3 出席 丸山委員、野上委員、浅田委員、小田委員、江原委員、野村委員、光定委員、
末永委員代理、金子委員、高橋委員（地域医療課長）、染野委員（防災計画課長）、
内田委員（医療環境整備課長）、宮原委員（石神井保健相談所長）
欠席：秦委員
- 4 公開の可否 公開
- 5 傍聴者 0 名（Web 会議のため受付せず）
- 6 次第
- 1 開会
 - 2 議事録について
 - (1) 令和 2 年度練馬区災害医療運営連絡会第 3 回専門部会会議要録
 - 3 議題
 - (1) 令和 3 年度災害医療運営連絡会専門部会の検討事項について
 - (2) 令和 3 年度練馬区医療救護所訓練の実施について
 - (3) 災害時における情報共有ツールの増設について
 - (4) 令和 3 年度 EMIS 訓練の実施について
 - 4 その他
- 7 資料
- 資料 1 令和 2 年度練馬区災害医療運営連絡会第 3 回専門部会会議概要
- 資料 2 令和 3 年度災害医療運営連絡会専門部会の検討事項
- 資料 3 令和 3 年度医療救護所訓練について（案）
- 資料 4-1 災害時における情報共有ツールの増設について
- 資料 4-2 運用イメージ
- 資料 4-3 既存ツールとの使い分け
- 資料 4-4 運用ガイドライン（案）
- 資料 4-5 運用ルール（案）
- 資料 5 令和 3 年度広域災害救急医療情報システム（EMIS）訓練概要
- 8 事務局 練馬区地域医療担当部地域医療課管理係
電話 03-5984-4673（直通）

会議の概要

1 開会

(部会長)

ただいまから令和3年度練馬区災害医療運営連絡会第1回専門部会を開催する。

【委員自己紹介】

2 議事録

(1) 令和2年度練馬区災害医療運営連絡会第3回専門部会会議要録

(部会長)

会議要録については事前に送付しているので、説明は割愛する。修正等意見はあるか。

【意見なし】

3 議題

(1) 令和3年度災害医療運営連絡会専門部会の検討事項について

【資料2について事務局から説明】

(部会長)

今年度の検討事項については、昨年度の3月に開催した災害医療運営連絡会で諮られたものである。質問や意見はあるか。

【意見なし】

(2) 令和3年度練馬区医療救護所訓練の実施について

【資料3について事務局から説明】

(部会長)

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、今年度は、短時間かつ参加者を限定し、さらに訓練内容も変更して実施しようと考えているところである。質問や意見はあるか。

(委員)

訓練内容(案)では、班を3つに分けるということだったが、誰がどのように分けるのか。

(事務局)

あらかじめ参加者名簿の提出を依頼する予定なので、それを見て、事務局(地域医療課)で班分けをしようと考えている。

(委員)

例えば、医師だとそれぞれの専門分野がある。班を分けるにしても、偏りなく配置した方がよいと思うがいかがか。

(事務局)

それでは、班を編成する際に、それぞれの団体にはご相談し、決定させていただく。

(委員)

各学校のレイアウトの中で、旭丘中学校の咳・熱症状者エリアの記載がないが、これはまだ検討中ということによいか。

(事務局)

場所は、ある程度決まっているが、避難拠点要員の中での共有がまだ済んでいないと聞いているため、この資料では記載をしていない。訓練までにはお伝えできると思う。

(委員)

この訓練案では、軽症者処置は行わないということによいか。

(事務局)

医療救護活動の中でも、「トリアージ」、「重症者処置」、「搬送」に焦点を当てて訓練を行おうと考えている。そのため、軽症者処置に従事する職種の方については、「トリアージ」のときに役割を果たしていただきたい。

(委員)

訓練の目的の一つが、感染症対策をマニュアルに落とし込むということだったが、参加させる会員は、過去に訓練に参加したことのあるものを選んだ方がよいのか。

(事務局)

今回の訓練では、アクションカードの効果検証も目的の一つなので、参加者の選出の基準については、各会の判断に委ねたい。

(委員)

日程が9月から10月で予定しているようだが、衆議院選挙と重なった場合はどのように考えているのか。

(部会長)

そのようになった場合は、学校が投票所になるため、訓練は開催できない。選挙の日程が分かり次第、日時を再調整させていただく。

(部会長)

今回は、新型コロナウイルス感染症対策についても、訓練に取り入れていく予定である。発災時に参集する医療職の数にもよるとか思うが、同じ処置室内で発熱者エリアと非発熱者エリアを分けるべきかや発熱者は別室で対応するべきかなどについて意見はあるか。

(委員)

医療救護所においては、重・中等症者の処置エリアは保健室が当てられているところが多いと思うが、新型コロナウイルスが疑われる人とそうでない人を分けることは、部屋の広さから考えると困難で、同じ空間にいることはあまり好ましくないことと思うが、どのように考えているのか。

(部会長)

本来であれば、発熱者と非発熱者で部屋を分けることが理想なのだが、やむを得ず同じ部屋で対応する場合では、最低限、感染が疑われる人は距離を置くなどするしかないのではないだろうか。マニュアルにも理想の形だけでなく、いくつか考えられる対応策を挙げようと思っている。

(委員)

説明のとおり、完全に部屋を分けることが理想だが、それぞれの部屋に医療従事者を配置することは難しいかと思うので、例えば、感染が疑われる患者を収容する場合は、距離を置くなどして、できる範囲で実行可能な対策を講じるしかないだろう。

(委員)

そのときの状況によって、対応は変わると思うので、訓練で確認してみるほかないかと思う。

(委員)

訓練では、例年災害拠点病院が講師や助言を行っているが、説明のあった今回の訓練での役割としては、重症者エリアでのファシリテーターという認識でよいか。

(事務局)

複数人ご参加いただけるようであれば、重症者エリアでのファシリテーターとしての役割と、全体を見回して助言いただく役割をお願いしたいところであるが、そうでない場合は、重症者エリアでのファシリテーターを務めていただきたい。

(部会長)

資料3の1の(2)のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響により、今回の避難拠点運営連絡会の参加は見合わせようと考えているが、組織によっては、参加したいという声もある。せっかくの機会なので、人数を限定した上で、見学や参加もできるようにしたいと考えているので了承いただきたい。

(部会長)

その他意見があれば、会議終了後であっても、事務局までご連絡いただきたい。

(2) 災害時における情報共有ツールの増設について

【資料4-1から4-5について事務局から説明】

(部会長)

昨年度の災害医療運営連絡会で、災害時の情報共有ツールについては、導入に向けて検討する方向で承認を得たところである。今回は、全体像を提示させていただいた。今回は、導入に向けて、詳細を提示させていただきたいと思っている。効果的な運用や工夫等について意見をいただきたい。

(委員)

関係事業者や医療従事者等、対象者の登録やアカウントの削除などを区で管理するとなると、相当な負担になるかと思うが、どのように考えているのか。

(事務局)

ご指摘のとおり、事務局で作業を行うとなると煩雑な事務が発生すると認識している。一方で、管理者については、区で一括して担った方が効率的であると考えている。しかし、場合によっては、関係団体の皆さまにもご協力いただく部分もあるかと思うので、今後、課題等を精査させていただきたい。

(部会長)

関係者以外の者が入り込むことがないよう、基本的には、管理者は区が一括して行うことを想定しているところだが、今後、関係者の皆さまにはご相談させていただく。

(委員)

医療救護所参集要員向けの参集可否のアンケートがあったかと思うが、それは、区の方から発信するものなのか。

(事務局)

今考えているものとしては、各師会の本部および参集いただく要員の先生ならびに区で、トークルームのグループを作成するつもりなので、その中で区から発信させていただく。

(委員)

その集計結果は、各師会の本部にも情報提供いただきたいものだが、どのようにして連携するのか。

(事務局)

アンケート機能で回答されたものについては、グループメンバーが閲覧できるように設定することが可能なので、それをご覧いただきたい。

(委員)

普段から使用する習慣がないと、有事の際には、使い切れない恐れがあるので、些細な連絡ごとでもLINE WORKS を活用していった方がよいかと思う。一般に浸透しているLINEにしても、プライベートで使用しているから効果的なのであって、そうでない場合は、アプリを立ち上げることもなかなかしないのではないか。

(部会長)

いざというときに使用できるように、訓練以外でも、LINE WORKS に触れる機会は作っていきたいと考えているので、皆さまにはご協力をお願いしたい。

(委員)

資料4-3に、「その他緊急連絡や個人情報を含むもの」の連絡手段においては、電話を使用すると記載があるが、電話回線は輻輳しやすい印象がある。代替手段は、どのようなものがあるのか。

(事務局)

固定電話や携帯電話については、災害時に使用できない可能性がある。LINE WORKS においても通話機能を有しているが、災害時には、そのときどきに応じて、使用できる通信手段を使用していただきたい。記載しているものは、最も適切と思われるものを示しているなので、実際にはこれに依らないことも考えられる。

(部会長)

関係資料については、次回までに、より詳細なものをご用意させていただく。場合によっては、意見を求めることがあるかと思うが、その際には、LINE WORKS を通じて回答いただきたい。

(3) 令和3年度EMIS訓練の実施について

【資料5について事務局から説明】

(部会長)

昨年度に引き続き、EMIS訓練を実施しようと考えている。コロナ禍で業務多忙のことかと思うが、ご協力をお願いしたい。

4 その他

(部会長)

その他委員から報告等はあるか。【特になし】

5 練馬区災害医療運営連絡会第2回専門部会日程について

(部会長)

次回の会議については、事前に調整した結果、9月1日(水)19時から開催する。

以上をもって、令和3年度練馬区災害医療運営連絡会第1回専門部会を終了とする。